

常盤塾

日時：2016年2月13日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 東野祐香里（前半）、三藤剛照（後半）

講師：谷口さん

メンバー：常盤さん 今田さん 片平さん 丸山さん 安梅さん 古城さん 昌子さん
松永さん 松崎さん 大下さん

<アジェンダ>

- ① 京都大学大学院経済学研究科特任教授 谷口正次先生のお話
「自然資本経営のすすめ」
- ② ディスカッション

<議事録>

- ① 「自然資本経営のすすめ」 谷口正次先生
- ナチュラルキャピタルエコノミー
- 日本初 4K ドキュメンタリー 『うみやまあひだ』 予告編視聴

② ディスカッション

- 常盤さん
ウィリアム・モリスが産業革命時代に先生と同じようなことを言っている。今の社会は高率と利益優先の経営を行っている。消費者のニーズと称して粗悪品を量産しているが、それを買う人がいる。物の芸術性、何かところの宿り木みたいなものをものの中に見いださないといけない。ものの中にある本当の意味での良さを議論しなくてはならない
- 谷口さん
「欲望」について、フランス語でしっかりわけてある「deir（欲望）」「lesoin(最低限の欲求)」。Desir を lesoin に変えるのにはどうしたらよいのか。
- 安梅さん
箸を子供達がつくる経験が、物を大切に作る心を育てている。
- 谷口さん
企業が全て外注しているこの時代において、最初からつくる原体験が必要。
- 常盤さん

昔は自分で直していたし、それが原体験になっていた。少々のもは自分からつくる
ことができる。

昔のように戻れと言っているのではなくて、デジタルなものをつくりつつ自分達に身
近なものという非常に難しいことを行わないといけない。

- 谷口さん

アーノルドトインビー「産業革命を推進したのは何か、家庭の母親の教養が高かった、
現代は母親の教養といった精神的なエネルギーは現在どこに求めるべきなのか。」
世界が IoT や AI だといっているが同じような方向性だけではだめで、本当の新たな精
神的エネルギー、価値観が必要。なのに、女性の耳にいいようなことを言っていたら
いいような風潮がある。そのような部分を打開するためにリベラルアーツについて注
視する必要があるのではないか。

- 今田さん

なんとなくオプティミスト的な話として「いらぬ物を捨てたらこんなに幸せにな
った」といったことに勝手に気づきはじめているのではないか。

- 谷口さん

経済学者と議論していると本当に現実を知っているのだろうかと考えることが多い。
現在テレビやスマホなどどこにもコマーシャルが入ってくる。この強力な部分に対し
てどう対抗していくのか考えないといけない。

- 常盤さん

広告代理店に頼む企業がよくない。広告店の川下にある人々を教育しなくてはならな
い。

- 古城さん

でも企業イメージを上げるためには広告代理店を介さないことは難しい。

- 常盤さん

広告代理店の機能としての面は大いに必要。発信源はどこかという議論もしないとい
けない。広告という物を広告代理店に丸投げしている仕組みが改善しなくてはならな
い。

- 谷口さん

水素社会について悪い方向に行っている。石油会社が化石燃料で水素をつくろうとし
ている。これは本来の目的を見失っている。経産省などが石油会社のロビー活動に屈
している。

車に関しても水素自動車などが発達しているが、車は効用としては運転のよろこびな
どもあるけど、車自体は人の移動に関しては非常に非効率。モビリティの観点では
路面電車などの経営改善等を行う必要がある。

- 常盤さん

経済を理論的にとらえられる学問として考えているのが間違い。経済は倫理学と結び

ついたものであり、数学では表すことができない。

- 谷口さん

過去・現在のものについては分析できるけれども、将来について考えることはできない。これが経済学の本質的な欠点。歴史学や倫理学が必要。

- 古城さん

マイナス金利について、金利について物はおいておいたら減っていくのになんで金は増えてくの？この先明るいと思っていたけど、株価が落ちている。

- 谷口さん

26日がxデーと言われている。株価が落ちているのがリーマンショックの時よりも激しい落ち方をするのではないかな？

- 常盤さん

今度の金融不安はリーマンショックのような仕組み上のわかりやすかったもではなくて非常に複雑なわかりづらいものである。

ROE について非常に否定的で、株主がどうしてお金儲けをしなくてはならないのか。株主は企業の株を買って設けるといった発想なのに、企業は株主のためにあれこれしている。

- 松崎さん

技術は勝手に進んでいってしまう。技術の作り方のほうに、倫理などの仕組みをつくる必要がある。経済の構造も外付けではなくて内的な知識構築をどのようにしていくのが大事。今の人口知能はブラックボックスで、放り込めばなにかアウトプットするけど何がでてくるかわからない。そのようなものをしっかり行き先を決めることが必要。

- 常盤さん

IoT も集中の方向にしかいってないけど、分散が必要なものもある。IoT,インダストリー4.0にはちゃんと壁があって、そこから戻ってきた時に見えるものがある。

- 松崎さん

結局アプリ連携でしかなくて限界が見えている。生活の点でどのように考えるのか再定義しなくてはならない。学問の領域に関しても、再編して再定義する必要がある。カリキュラムではないことを必要になる。数学も経済とくっついて混ぜこぜになっているけど、純粹にやっているひとは倫理とかもやっている。会社に入ると if,then しかやってなくて次元の感覚すらわかっていない。

- 常盤さん

消費者が変わらないとだめ。そのためには親のほうが賢くならなくてはならない。

- 谷口さん

母親が教養が高いと言うことが一番栄えることに寄与している。専業主婦をやれと言う意味ではなくて。価値観を変えさせるのはモノづくりの企業も行うことがある。そ

れはあるべきライフスタイルを示唆するようなモノづくりをしなくてはならない。ネイチャーテクノロジー。モノづくりの根本的なパラダイムを変換する必要がある。

- 常盤さん

ものの開発は行ってきたがこころの開発は行ってこなかった。新たな価値観を想像するような物でなくてはならない。消費者に眠っていた本来の価値観について提案できる心の開発ができることが大事。

売りの品質：売ることにする質を変えていかなくてはならない。抽象的だけど具体的には各企業が考えなくてはならない。

- 片平さん

アメリカ文明に対する無条件の降伏みたいなものがあった。大学生世代が小学校の先生になりたいと思えるような社会に変えていかないといけない。現在は仕事として小学校の先生をやっている人と、くだらない母親が喧嘩しているくだらない泥沼の状況。オックスフォードでている人たちの感覚、小学校の先生や研究職は上の位と考えられている。

- 谷口さん

医者の評価は非常にテレビで紹介されて高いけど、家族などのものを見ている町医者は社会的地位は低い。この評価は間違っている。大企業にいけ受験しろ、などの価値観も親の教養のなさが原因である。価値観が進歩しない、それにメディアがのっかる、高校のランク付けをする。このメディアの質の悪さもある。

- 片平さん

2-6-2の法則で、上の2が上に行きたいと言った考えだけでやっている。自分の本心でやっているのか危うい。

- 谷口さん

支配的小数が想像力を失えば組織がつぶれていく。

- 今田さん

小学校の先生、自分の情熱で子供を育てるといったことについてがんじがらめでできない。

- 松崎さん

松下幸之助の話。広告宣伝に関しては伝えたいことを的確にはやく伝えるためにある。それができない人は社員ではない。

- 片平さん

そのような社員がいなくなっている。松下の名前をなくしたのが間違いだった。